

仏教保育専攻

ヘルスアップスポーツⅠ〈仏教保育専攻〉

担当教員	松岡 哲雄	単位	1単位	開講期間	秋学期
成績評価の基準	授業参加態度 50%、技術面(保育技術を含む) 50%				
教科書	『幼児体育 理論と実践(初級)』日本幼児体育学会認定 幼児体育指導員養成テキスト 『保育内容・健康』著者 松岡哲雄 青山社 2019 必要に応じてプリントも配布する				
参考文献	『幼稚園教育要領解説』(文部科学省、フレーベル館、2018)・『保育所保育指針解説』(厚生労働省、フレーベル館、2018)・『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』(内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレーベル館、2018)『幼児体育 理論と実践(第4版)』日本幼児体育学会 2013				
授業方法	講義				

授業の概要・ねらい・到達目標・授業計画・注意事項など

生涯を通じて健康な生活を送ることは、私達にとって一生の願いである。その健康を保つための3原則としてあげられるのは、適度な運動、バランスのとれた食事、適切な休養である。その中でも不足しているのは適度な運動である。本授業では運動不足を解消すると同時に、生涯にわたり明るく活力のある生活を営むための方法を、実技と理論を通して学び、運動の習慣化のきっかけとなることを目標としている。また、保育者として、乳幼児への教育・保育を行うために必要な体育の基本的知識を正確に理解し、実際の教育・保育現場をイメージしながら考える基礎を養うことを主な目的としている。授業評価においては、積極性に加え、挨拶・話を聞く姿勢など保育者としての姿勢に重きを置いた参加態度も評価していく。技術面に関しては、運動技術以外に子どもへのしゃべり方や補助の仕方など保育技術に関するものも評価する。運動時は熱中症予防のため、学生はマスクを着用しなくても構いません。ただし、学生がマスクの着用を希望する場合は、マスクの着用を否定するものではありません。

[授業計画]

1.	導入ーなぜヘルスアップスポーツを学ぶのかー健康と体力とは 幼児のリズム体操とは
2.	リズム体操・体づくり運動(体ほぐし運動)幼児期の運動プログラム ボール(もつ、運ぶ、転がす)
3.	リズム体操・体づくり運動(体ほぐし運動)幼児期の運動プログラム ボール(投げる、捕る、突く)
4.	リズム体操・体づくり運動(体ほぐし運動)幼児期の運動プログラム ドッジボール導入・展開方法
5.	リズム体操・体づくり運動(体力を高める運動)幼児期の運動プログラム サッカー遊び
6.	リズム体操・ 体づくり運動(体力を高める運動)幼児期の運動プログラム なわを使った遊び(くぐる、引っ張る、投げる、運ぶ跳びなど)
7.	リズム体操・ 体づくり運動(体力を高める運動)幼児期の運動プログラム なわを使った遊び(前跳びに繋がる遊び)
8.	リズム体操・体づくり運動(体力を高める運動)幼児期の運動プログラム なわを使った遊び(色々な跳び方)
9.	リズム体操・体づくり運動(体力を高める運動)幼児期の運動プログラム 大なわを使った遊び(くぐり抜け、大波小波など)
10.	リズム体操・体づくり運動(体力を高める運動)幼児期の運動プログラム 新聞を使った遊びの扱い方(グループ討議)
11.	リズム体操・体づくり運動(体力を高める運動)幼児期の運動プログラム 新聞を使った遊びの扱い方(前半グループ発表)
12.	リズム体操・体づくり運動(体力を高める運動)幼児期の運動プログラム 新聞を使った遊びの扱い方(後半グループ発表)
13.	リズム体操・体づくり運動(体力を高める運動)多種多様な動きを取り入れた幼児期の運動プログラム 指導案検討(グループ討議)
14.	リズム体操・ 体づくり運動(体力を高める運動)多種多様な動きを取り入れた幼児期の運動プログラム 実技(前半グループ発表)

15.

リズム体操・体づくり運動(体力を高める運動)
多種多様な動きを取り入れた幼児期の運動プログラム 実技(後半グループ発表)

[備考・注意事項等]

積極的な受講姿勢を尊重する。自身の健康維持、安全管理に留意し、室内シューズ、運動着着用にて受講すること。
これは怪我をせずに運動を楽しむための危険回避であり、準備が出来ない場合は履修は不可能です。筆記用具は毎回持参すること。

備考:この科目は実務経験のある教員等による授業科目である